



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立平岸西小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

朝の読書タイム

毎週火・木曜日の朝の10分間は、全校一斉で読書に取り組んでいます。自分で読みたい本を選んで読み、継続的に本に親しむための大切な時間となっています。

先生読み聞かせの会

縦割りのペア学年の先生同士が交代して、朝読書の時間に読み聞かせを行いました。先生方の読み聞かせを、子どもたちは夢中になって聞いていました。この期間中は、教職員がお薦めする本を図書館前にも掲示しました。普段は読む本を自分で選んでいますが、他人がお薦めする本にも興味をもち、「読書が大好き！楽しい！おもしろい！」という思いを育むことができました。



図書委員会による活動

- 日常的に本へ親しんでもらうため、図書委員が多くの企画を行いました。
- 本のポップ&装飾～図書委員のお薦めの本のポップが展示されています。ハロウィンやクリスマスなど季節ごとに飾り付けも変わり、図書館が華やかになっていました。
- シールラリー～本を借りてシールをもらい、学年ごとの台紙に貼っていきます。今年度は、カラフルな「ひらにっしー」が完成しました。
- ポスター制作～図書委員がお薦めの本をポスターにまとめました。低・中・高学年向けに分けて作成し、校内に掲示しました。



学習センターとしての機能

ブックトラックを活用した調べ学習

本校には、各学年専用のブックトラックがあります。主に教科書の推薦図書や調べ学習に使用する本を置いています。日常的に手に取れるように、通年での貸出扱いとなっています。単元が終わった後も、読み進めたり読み返したりして学びを深める姿が見られました。



情報センターとしての機能

先生貸出

個人で本を借りるだけでなく、学級として借りる先生貸出という制度があります。1学級80冊（1人2冊）程度の本を2週間まで借りることができ、教室で保管します。一度に多くの本を借りることができるので、幅広く情報を得るきっかけとなっています。